

令和 8 年 度

仕 様 書

(実 施 設 計)

委託業務名： 神山温泉源泉タンク等改修工事設計委託業務

神 山 町

仕 様 書

委託業務名： 神山温泉源泉タンク等改修工事設計委託業務

1 設計内容

本仕様書に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書」（令和6年3月26日国営整第213号）による。

- (1) 設計は、次表のうち、○印を付したものに関する業務を行うものとする。
業務の内容は、令和6年国土交通省告示第8号別添－第1項第二号イに掲げるもの及び5(2)に示す成果品の作成にかかるものとする。ただし、建築確認申請が不要な場合は、それに関する業務を除くものとする。

○	建築設計
○	建築構造設計
○	電気設備設計
○	機械設備設計
	敷地造成設計
○	屋外附帯設計
○	積 算
	基本計画書

- (2) 目標とする工事費の額 80,000,000 円

- (3) 工事施工予定期間 着工の日より 日間の予定（契約書による）

- (4) 設計書は次の工事別に作成する。

神山温泉源泉タンク等改修工事
その他、町が指示する工事区分とする。

2 設計の進め方

- (1) 現況調査及び施設管理者への聞き取り調査を実施するとともに、監督員との協議を十分に行い、その結果を取りまとめ、監督員の確認を受けたうえで設計を進めること。
- (2) 建築物の敷地、構造及び建築設備に関する法律等並びにこれに基づく命令及び条例の規定等を遵守するほか、県の定める工事標準仕様書、各種設計基準及び標準図等に基づいて設計を進めること。
- (3) 工事実施時に支障となることがないように、官公署等との打ち合わせを緊密に行い、結果を文書で保存しておくこと。
- (4) 目標とする工事費の額は、経費を除いた直接工事費の額とし、建築工事及び設備工事の合計額が、この範囲内に納まるよう設計を進めること。
- (5) 建築及び設備の設計工程を明確にし、各設計担当者相互の連絡を密にすることにより、設計作業が円滑に進むよう努めること。
- (6) この要領に明記されていない事項があるときは、監督員と協議して定める。

3 設計図書の作成

- (1) 設計図書の用紙の大きさ、書式、構成及び編集方法等は、監督員の指示によること。
- (2) 設計図書には、全て氏名及び建築士登録番号を記入し、捺印すること。
- (3) 積算書等の書式は独自のものを使用してよい。（ただし、A4版ファイルを原則とする。）

4 提出する設計図書等

- (1) 設計が完了したときは、設計図書（図面及び設計書並びに構造、負荷及び流量計算書等）の焼図及び数量計算書等を監督員に提出し審査を受けること。また、訂正の指示があった場合は、訂正を行った後、設計図書の原図を引き渡すこと。

(2) 成果品

次表のうち、○印を付したものを、指定部数提出する。

	種 類	数 量 等	備 考
	設計図書（原図）	次に掲げる設計図書一覧表1～3のうち、○印を付したものの原図一式	用紙の大きさは、A3版を原則とする
○	設計図書（焼図）	二つ折製本 2部 平綴じホチキスとめ（指示部数）	用紙の大きさは、A3版を原則とする
○	設計図書（電子データ）	CD-R又はDVD±R（1部）	（注1）
○	設計書	白焼き1部及び電子データ	
○	数量計算書	原稿一式及び電子データ	数量調書、単価調書及び見積書等
○	設計計算書	PDFデータ、白焼き1部	（注2）
	透視図	外観（ ）枚、内観（ ）枚	鳥瞰、方向等の特記
	模型		
	確認申請書他	必要部数	申請書及び関係図書
	消防法による届出書	必要部数	使用開始届及び関係図書

（注1） 図面データのファイル名は、日本語とする。

CD-R等電子媒体に、

- ・PDFデータ
- ・CADデータのファイル形式が、SFC形式のファイルのもの
- ・CADデータのファイル形式が、使用したCADのオリジナルのファイル形式のもの（ただし、jww・dxf・dwg形式に限る。）

を保管するものとし、それぞれをフォルダを別にして、整理して保管すること。

図面の表題欄の寸法及び様式は、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築事業設計業務欄】」の付属資料3による。

CD-R（DVD-R）への書き込み後の電子成果物について、最新のウイルス定義データを用いてウイルスチェックを行い、コンピュータウイルス等が無く、安全であることを確認すること。

（注2） 設計計算書のうち構造計算書については、国土交通大臣認定プログラムにより計算を行うこと。

設計対象建築物を計算可能な認定プログラムが存在しない等の理由で、監督員の承諾を得た場合には、認定プログラム以外での計算を認めるが、額の変更対象としない。

- (3) 成果品の取り扱いについて
提出された設計図書（電子データ）については、当該施設に係る工事の受注者に貸与し、当該工事における施工図の作成、当該施設の完成図の作成及び完成後の維持管理に使用することがある。

設計図書一覧表 1

	種 類	備 考		種 類	備 考
	A. 共通設計図			B. 敷地造成設計図	
○	1. 表紙			1. 敷地測量図	
○	2. 図面目録			2. 敷地平面図	
○	3. 工事概要			3. 縦横断面図	
○	4. 特記仕様			4. 擁壁詳細図	
○	5. 配置図、附近見取図				
	6. 面積表、面積計算書				

設計図書一覧表 2

	種 類	摘 要		種 類	摘 要
	C. 建築設計図			D. 電気設備設計図	
	1. 内外仕上表			1. 変電設備機器配置図	
○	2. 各階平面図			2. " 系統図	
○	3. 立面図（ 4 面）			3. 電灯設備各階平面図	
	4. 断面図			4. " 幹線平面図	
	5. 軸組図			5. " 平面詳細図	
○	6. 基礎伏図			6. " 器具取付詳細図	
	7. 床伏図			7. 電灯設備系統図	
	8. 小屋伏図			8. " 集合計器盤	
	9. 梁伏図			9. " 分電盤	
	10. 天井伏図			10. " 器具取付表	
	11. 屋根伏図			11. " 予備電源設備図	
	12. ペントハウス			12. 動力配線設備平面図	
○	13. 平面詳細図			13. " 系統図	
○	14. 矩計詳細図			14. " 制御盤図	
	15. 階段詳細図			15. 電話配管各階平面図	
○	16. 各部詳細図			16. " 系統図	
	17. 室内展開図			17. " 端子盤図	
	18. 建具表			18. 火災報知器設備各階平面図	
	19. 構造伏図			19. " 系統図	

	20. 床梁及び壁リスト		20. 〃 機械図	
	21. 床板・階段・基礎配筋図		21. 放送設備各階平面図	
	22. ラーメン配筋図		22. 〃 系統図	
	23. ブロック配筋図		23. テレビ聴視設備各階平面図	
	24. 防火図		24. 〃 系統図	
	25. 山留め、水替詳細図		25. 〃 機器図	
	26. 日影図		26. 避雷針配線及び取付図	
○	27. その他必要な図面		27. 電鈴設備各階平面図	
	28. パース図		28. 〃 系統図	
			29. 〃 機器図	
		○	30 その他必要な図面	

設計図書一覧表 3

	種 類	摘 要		種 類	摘 要
	E. 機械設備設計図 (給排水、衛生、ガス、空調、 冷暖房)			F. 屋外附帯設計図	
○	1. 衛生設備各階平面図			1. 外柵門塀平面図及び詳細図	
○	2. 〃 系統図			2. 造園植栽平面図及び詳細図	
○	3. 〃 詳細図		○	3. 道路平面図及び詳細図	
	4. 消火栓設備各階平面図			4. 雨水排水平面図及び詳細図	
	5. ガス設備各階平面図			5. 公園平面図及び詳細図	
○	6. 受水槽詳細図			6. 構内舗装図	
	7. 高置水槽詳細図				
	8. 合併浄化槽詳細図				
	9. 換気設備各階平面図				
	10. 〃 系統図			G. 設計計算書	
	11. 〃 詳細図			1. 構造計算書	
	12. 冷暖房設備各階平面図		○	2. 設備構築物構造計算書	
	13. 〃 系統図		○	3. 給水流量計算書	
	14. 〃 詳細図			4. 排水 〃	
	15. 空気調和設備各階平面図			5. 浄化槽容量計算書	
	16. 〃 系統図			6. 換気量計算書	
	17. 〃 詳細図			7. 暖房負荷計算書	
	18. エレベーター設備平面図			8. 冷房 〃	
	19. 〃 機械室詳細図			9. 電圧降下計算書	
	20. 〃 カゴ詳細図			10. 照度計算書	
	21. シャフト詳細図				
○	22 その他必要な図面				

5 貸与する図書及び資料

次表のうち○印を付したものを貸与するので、適切な保管に努めること。また、寄与品は、成果品の引き渡しの際に、すみやかに返却すること。

種 類	摘 要	種 類	摘 要
1. 敷地測量図		○ 6. 各種設計資料	
2. 設計計画図書		7. 設計図書	
3. 地質、地盤調査資料		8. 数量調書	
4. 各種設計基準図		9.	
5. 各種標準図		10.	

6 設計予定地及び設計概要

予定建築物の概要は次表による。

設計予定地 名 称	徳島県名西郡神山町神領字南上角他 構 造 ・ 規 模	数量（面積）	備 考
神山温泉	【施 設】 源泉タンク（2基） 【業務内容】 本業務は、既設源泉タンク及び関連埋設配管の老朽化に伴い、温泉施設の営業を継続しながら、安定した温泉供給を確保することを目的として、源泉タンク更新及び関連配管更新に係る調査、基本計画、実施設計を行うものである。 1.現況調査 ・既設源泉タンク2基の構造、寸法、劣化状況調査 ・既設埋設配管の布設状況、管種、口径、劣化状況 調査 ・既設施設の運転状況及び温泉供給系統調査 ・源泉揚湯量、使用量、運転状況等の把握 ・既設図面、過年度資料等の収集整理 ・進入路幅員、縦断勾配、旋回条件等の搬入搬出条件調査 2.源泉タンク更新計画検討 ・温泉施設営業を継続した状態での施工計画の立案 ・1基運用を行いながら順次更新する施工ステップの検討 ・仮設設備計画の検討 ・仮設配管、仮設ポンプ、仮設タンク等の必要性検討 ・更新対象タンクの構造形式比較検討 3.源泉タンク容量検討 ・過去の源泉使用実績分析 ・ピーク時利用状況分析 ・必要貯湯容量の算定 ・災害時及び緊急時対応を考慮した予備容量の検討 4.施工計画検討 ・資材搬入計画 ・解体材搬出計画 ・工事用車両進入計画 5.解体工法検討 ・進入条件を踏まえた解体工法比較検討 ・小型バックホウ等及び人力使用による解体工法検討 6.埋設配管更新計画 ・管種選定及び耐熱性、耐腐食性比較検討 ・更新ルート及び配管埋設深さ検討 ・維持管理性向上及び将来更新を考慮した配管計画検討		

7 設計委託履行期間等

- (1) 履行期間 契約書による

8 その他委託上の条件

- (1) この設計の著作権は町に帰属するものとし、町において必要に応じ設計内容の変更を行うことができるものとする。
- (2) 工事実施にあたり、設計内容に疑義が生じた場合は、設計受託者は責任ある回答を行うこと。
また、当該問題の解決のため現場指導を求められた場合は、担当者を現地に派遣すること。
- (3) 工事実施にあたり、設計受託者の責めに帰する事由により設計変更の必要が生じたときは、監督員の指示により、設計受託者において設計変更図書の作成を行うこと。
- (4) 建築確認申請書、消防法による諸届及び法令に定められた諸手続きは、設計受託者において行うものとする。